



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 日本ホスピスホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7061 URL <https://www.jhospice.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 高橋 正
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 CFO (氏名) 加藤 晋一郎 TEL 03-6368-4154
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	10,361	16.8	700	△25.8	511	△27.8	304	△30.5
2024年12月期第3四半期	8,874	22.9	944	△11.8	708	△15.5	437	△21.7

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 304百万円 (△30.5%) 2024年12月期第3四半期 437百万円 (△21.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	36.23	36.01
2024年12月期第3四半期	53.40	52.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	17,754	3,704	20.9
2024年12月期	18,310	3,446	18.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 3,703百万円 2024年12月期 3,440百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期（予想）				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	15,000	23.8	1,300	1.0	1,050	4.2	680	6.3	81.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期3Q	8,428,100株	2024年12月期	8,266,100株
② 期末自己株式数	2025年12月期3Q	1,490株	2024年12月期	445株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期3Q	8,398,304株	2024年12月期3Q	8,194,015株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（P 3 「1. 経営成績等の概況 （3） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(表示方法の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

（1）経営成績に関する説明

① 市場環境

当社グループの事業に関わる医療・看護・介護の環境につきましては、高齢者の増加と共に市場が拡大し需要が増加する一方で、社会保障費の抑制を目的として、病院を中心とした施設から在宅を中心とした医療へのシフトが進み、医療と介護の連携や地域単位でのケア体制の整備等が促進されると予想しております。

② 2025年7月～9月におけるホスピス施設の状況

このような状況の中、当社グループは「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした在宅ホスピスの事業を推進し、当第3四半期連結会計期間においては、以下のホスピス施設を新たに開設しました。

名称	所在地	居室数	開設月
ファミリー・ホスピス船橋ハウス	千葉県船橋市	38	2025年9月
ファミリー・ホスピスOASIS桜山	名古屋市瑞穂区	36	2025年9月

以上、2施設の新規開設により、当社グループの運営するホスピス住宅は、全55施設1,873室となり、前連結会計年度末より264室増加（前期比16.4%増）しました。

③ 前年同期比較

第1四半期連結会計期間に低下した稼働率は、マネジメント体制を変えた4月以降に回復上昇しました。また、前第4四半期連結会計期間から当第3四半期連結会計期間までの1年間で計12施設を開設したことにより、入居者数が増加し、前第3四半期連結累計期間に比べ、増収となりました。

成長を実現するための組織作り（営業組織、エリア・ユニット・本部サポート体制の強化）は順調に進捗しており、第2四半期連結会計期間以降の入居者数や稼働率の向上に寄与した一方で、体制強化のための採用費及び人件費が前年同期比で約2億円増加しました。加えて、前第4四半期連結会計期間からの12施設分の開設前先行投資費用と開設後の運営等に伴う費用負担により、前第3四半期連結累計期間に比べて減益となりました。

これらの結果、前第3四半期連結累計期間に比べて増収減益となりました。

④ 当社の施設損益

当社グループの運営する施設は、開設に先立って看護師等の従業員を採用することでホスピスチームを作り、ホスピスチームが確立した事を確認して施設を開設し、開設した後に順次入居者を受け入れる形で運営を行っていることから、一定の稼働率に至るまでは売上に対して人件費等の費用が先行して発生することになります。また、施設の居室数が30室前後の場合は施設開設から約1年をかけて、40室前後の場合は施設開設から約1年半をかけて、当社グループが満室の目安とする85%の稼働率に至る計画で展開しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、10,361,209千円（前年同期比16.8%増）となりました。利益に関しては、営業利益が700,873千円（前年同期比25.8%減）となり、助成金収入等の営業外収益160,798千円、借入金及びリース債務に係る支払利息等の営業外費用349,817千円を計上した結果、経常利益は511,854千円（前年同期比27.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は304,340千円（前年同期比30.5%減）となりました。

当社グループは、在宅ホスピス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産17,754,898千円となり、前連結会計年度末に比べて555,653千円減少しました。これは主に、工具、器具及び備品が49,446千円増加した一方で、土地が439,422千円、建設仮勘定が213,777千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は14,050,696千円となり、前連結会計年度末に比べて813,230千円減少しました。これは主に、未払費用が98,736千円増加した一方で、短期借入金が502,300千円、長期借入金（1年内返済予定を含む）が231,650千円、固定負債のリース債務が155,048千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は3,704,201千円となり、前連結会計年度末に比べて257,577千円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益304,340千円を計上したことによるものであります。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は20.9%となり、前連結会計年度末の18.8%に比べて2.1ポイント増加しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績につきましては、2025年8月13日に公表した「2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信」に記載した2025年12月期の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,526,291	1,341,933
売掛金	1,947,520	2,179,893
その他	313,300	288,606
流動資産合計	3,787,112	3,810,433
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,788,595	3,071,158
機械装置及び運搬具	11,439	11,439
工具、器具及び備品	215,004	264,450
土地	1,988,978	1,549,555
リース資産	9,111,464	9,111,464
建設仮勘定	788,641	574,864
減価償却累計額	△1,770,725	△2,148,611
有形固定資産合計	13,133,398	12,434,321
無形固定資産		
のれん	353,740	307,716
その他	35,970	67,277
無形固定資産合計	389,710	374,993
投資その他の資産		
繰延税金資産	100,455	125,863
その他	899,873	1,009,287
投資その他の資産合計	1,000,329	1,135,150
固定資産合計	14,523,438	13,944,465
資産合計	18,310,551	17,754,898

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	※ 1,102,300	※ 600,000
1年内返済予定の長期借入金	※ 305,081	※ 713,128
リース債務	196,588	205,078
未払金	175,594	283,060
未払費用	718,392	817,129
預り金	291,885	245,121
未払法人税等	181,447	46,313
賞与引当金	—	47,875
その他	18,126	15,513
流動負債合計	2,989,415	2,973,220
固定負債		
長期借入金	※ 3,118,584	※ 2,478,887
リース債務	8,465,661	8,310,613
退職給付に係る負債	67,279	69,320
資産除去債務	60,984	61,318
その他	162,002	157,335
固定負債合計	11,874,511	11,077,475
負債合計	14,863,927	14,050,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,561	477,872
資本剰余金	783,065	824,376
利益剰余金	2,222,075	2,402,430
自己株式	△965	△1,038
株主資本合計	3,440,736	3,703,641
新株予約権	5,888	560
純資産合計	3,446,624	3,704,201
負債純資産合計	18,310,551	17,754,898

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	8,874,476	10,361,209
売上原価	7,370,025	8,976,465
売上総利益	1,504,451	1,384,743
販売費及び一般管理費		
役員報酬	54,355	68,976
給料及び手当	102,453	118,656
法定福利費	21,243	24,999
租税公課	223,784	253,403
のれん償却額	46,024	46,024
その他	112,135	171,808
販売費及び一般管理費合計	559,996	683,869
営業利益	944,454	700,873
営業外収益		
受取利息	219	2,293
助成金収入	82,920	148,434
その他	2,907	10,070
営業外収益合計	86,047	160,798
営業外費用		
支払利息	320,855	347,000
その他	1,008	2,817
営業外費用合計	321,863	349,817
経常利益	708,637	511,854
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3,705
特別利益合計	—	3,705
税金等調整前四半期純利益	708,637	515,559
法人税、住民税及び事業税	263,207	236,627
法人税等調整額	7,817	△25,407
法人税等合計	271,024	211,219
四半期純利益	437,613	304,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	437,613	304,340

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	437,613	304,340
四半期包括利益	437,613	304,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	437,613	304,340

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(四半期連結貸借対照表)

第2四半期連結会計期間より、固定資産の使用実態をより適切に表示する観点から、勘定科目の使用方法和表示科目を見直し、「機械装置及び運搬具」としていた一部の資産について「建物及び構築物」として表示区分を変更することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結貸借対照表において「固定資産」に表示していた、「建物及び構築物」2,222,753千円、「機械装置及び運搬具」577,281千円は、「建物及び構築物」2,788,595千円、「機械装置及び運搬具」11,439千円として表示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※ 貸出コミットメント契約

当社及び連結子会社（ファミリー・ホスピス株式会社）においては、事業拡大及び財務基盤の安定化のため、取引銀行3行と当座貸越契約及びコミットメント型タームローン契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

① 貸出コミットメント契約

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
当座貸越極度額の総額	1,980,000千円	1,150,000千円
借入実行残高	1,102,300	600,000
差引額	877,700	550,000

② コミットメント型タームローン契約

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
タームローン極度額の総額	200,000千円	200,000千円
借入実行残高	200,000	200,000
差引額	—	—

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
減価償却費	337,786千円	386,136千円
のれんの償却額	46,024	46,024

（重要な後発事象）

該当事項はありません。